

# 令和3年度

## 読書感想文コンクール 入賞者紹介～小学生～

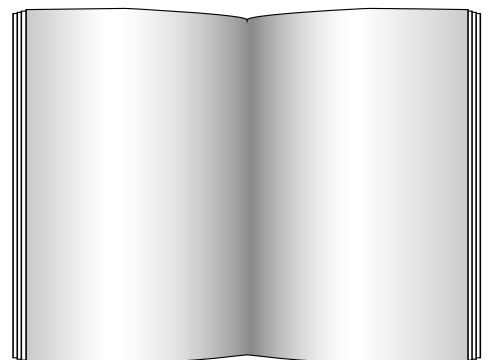
		最優秀賞	優秀賞	佳作
小学生	1年	実施していません		
	2年	谷口まなみ 「本とうはなかよし」	五十嵐悠斗 「ごんすけがんばったね」	原田唯菜 「きみ、なにがすき？」
	3年	會田真央 「かみさまにあいたい」 を読んで	南莉子 「おばあちゃんのおうち」	加藤智也 「わたしたちのカメムシ 図かん」を読んで
	4年	樋口碧 「虹いろ図書館のひなと ゆん」を読んで	東出愛梨 「ヤマ缶詰とずるずるあ げもち」を読んで	佐藤穂乃花 「トイストーリー」を読 んで
	5年	岸上果音里 「雨ふる本屋」を読んで	原岡名瑠美 「絶体絶命ゲーム」 を読んで	桑原里桜 「ぼくらの一歩 30人 31脚」を読んで
	6年	野本千絵 「15歳のコーヒー屋さん」	稲井悠斗 「未来を変える目標SD Gsアイデアブック」	金澤晴咲 「世界がもし百人の村 だったら」

この本を読んだりゆうは、前にほかのシリーズを読んだことがあって、この本はどんな話かな、と思ったからです。この話は、ナツというからだの大きい妹が、ココというお姉ちゃんをこまらせる話です。

わたしの妹も、わたしにめいわくをかけるから、ココの気もちがよくわかりました。おつかいに二人が出かけた時、おとうふやさんがナツに、「お姉ちゃん、妹とおつかいしてえらいねえ。」

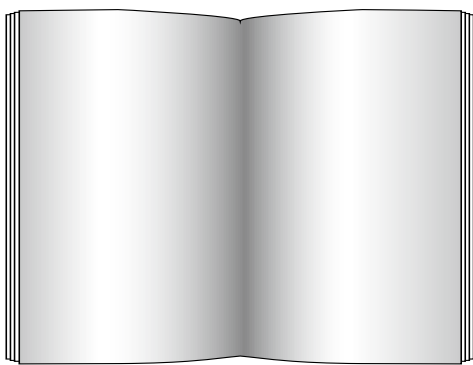
月形小学校2年  
谷口まなみ

「本とうはなかよし」  
を読んで



と言ったので、ココがかわいそうでした。そのかえり、ナツがまいごになって、わたしは心ばいしました。でも、ココがさがしたおかげで見つかったよかったです。ココは本とうは、ナツのことがすすきなんだな、と思いました。

わたしも、妹とけんかしてばかりだけど、もうちょっとやさしくしようと思います。ココとナツがいつまでもなかよしでいられるといいなと思いました。



「かみさまにあいたい」  
を読んで

月形小学校3年

會田 真央

私がこの本を読んだきっかけは、題名と絵がちがって気になり読みました。神様にかんけない絵だったからです。読んでわかったことは、主人公の友だちは、神様を女の人だと思っていたことです。私は、神様を男の人だと思っていたので少しびっくりしました。

心にのこった場面は、主人公たちが空においのりした時にとつぜん風花がふってきた場面です。風花とは、雪雲がないのにふる雪で、ふしぎな雪です。その雪が、主人公が、おいのりした時にふりだしたので、まるで、神様からのおへんじみたいですてきだからです。私も、雪遊びをしたいから雪がふりますようにと、おいのりをして雪がふったら、ねがいが通じたようで、とつてもうれいいます。

二つ目に心にのこった場面は、主人公の友だちのたつやがノートをうばわれた時に、主人公がたつやをかばった場面です。

たつやがおこることは、ふつうだけど、主人公がたつやをかばうことは、めずらしい

ことです。友だちというなかよしではないのでめずらしいことです。友だちになりたい人がばかにされていやだったからだと思います。

たつやが、作っていた神様と話す場所で、主人公は、神様はいると思っていました。他のクラスメートは、いないと思っていて、主人公は、神様がいると思う人がいたから友だちになろうと思ったからだと思います。

私は、今までそうゆう場面になったことはないですが、もしそのような場面になったら、私も主人公と同じでいやな気持ちになります。でも私は、主人公みたいにかばいません。もし、かばったら自分もからかわれると思うので、かばうことは、できません。

主人公は、たつやのためにかばったと思うのです。かばいと思いました。私も主人公みたいに、友だちの気もちを考えてかばえる人になりたいです。

三つ目に心にのこった場面は、先生が、いすをもやして天国のお父さんにおくつてあげる場面です。

先生は、さわやかな気もち

になりました。なぜなら、天国のお父さんがお気に入りのお父さんにおくられてきてよるこいでいると思つたからです。もう一つの理由は、お父さんのいすがボロボロになっていくのはさみしいけど、思い出すのいすは、きれいなまま、ずつときえないからです。

私は、「思い出は、きえないしよ」というところがわかりませんでした。でも、お父さんの気もちを考えていすをもやすというところは、わかりました。少しせつ明すると、お父さんのお気に入りのお父さんのおくるといふことです。

私は、この本を読んで、主人公も先生もやさしい人だと思えました。やさしい人は、相手の気持ちを考える人だと思えました。

私は、これからもかわらぬ相手の気持ちを考えて人にやさしくしたいと思つていきます。



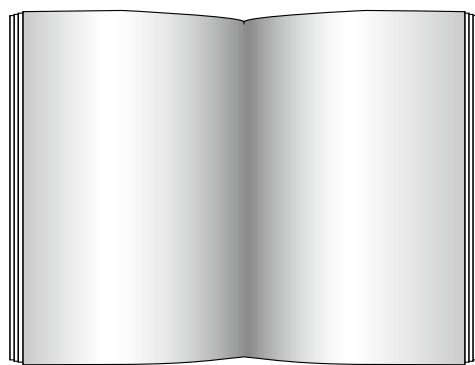
この本は、友達がいないう四年生のひなが、ある日、不思議な少女ゆんに出会い、やがて友達になっていく話です。

主人公のひなは、ちょっとこわがりな女の子です。それに、ひなは肝臓の病気でみんなに親切にされ、友達がいません。私が好きな登場人物はゆんの方です。ひなに、いろいろなお話をたくさんしてあげているからです。たと

「虹いろ図書館の  
ひなとゆん」  
を読んで

月形小学校4年

樋口 碧



えば「きょうふのショールンポー」、「魚とキスしたリーマ」、「カーチャとミーシャとくま」など、他にも楽しいお話をたくさんあげていたので、とてもやさしいなと思いました。このように、ひなと友達になっていったゆんですが、急に外国に行くことになりました。なぜなら、ゆんの親（キングとクイン）がユン島で取れるアルミニウムを世界中に売るので、ゆんは、ひなに手紙を置いて、外国に行ってしまう。私だったら、手紙ではなくて、きちんと話してから行くと思いません、言いたいことを二人とも話すことができるからです。

ひながゆんの書いた手紙を見つけて読んでいる姿は、とても心にのこりました。「泣いた赤おに」のお話みたいに、ひなは二度も三度も読んで泣きました。

「わたしは赤おにだ。青おにを利用して得したくせに、青おにを一人ぼっちにしてしまった。ゆんの言った通り、赤おにはひどいやつだ。」と、こうかいしました。せっかくなかよしになってくれたゆん

のことを「知らない子」と言っ

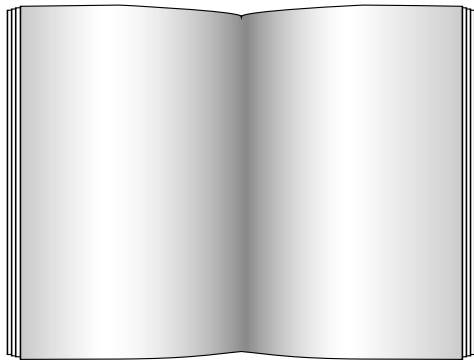
てしまっていたからです。他の友達に仲間はずれにされたくなって、ゆんのことを、「知らない子」にしていたのです。でも、私は、しょうがないなと思えました。なぜならひなの気持ちもわからないこともないからです。ゆんは学校の先生や男の子をけがをさせたので、ひなの学校の友達に言われます。

「マジ！」「うそでしよう？」「ひよっとして・・・」そんなふうに言われたら、だれだって「知らない、あんな子なんて、知らない、会ったこともない。」と言ってしまうと思うからです。

私は、いつからゆんが問題を作っていたのか？いつから手紙を書いていたのか？とても不思議に思いました。きつと、ひなと遊ぶのが終わった後に家で手紙を書き、ひなが学校に行っている間に図書館でイヌガミさんや家来と問題を作ったんだと私は思いました。

この物語が伝えたかったことは「友情」とは何かということだったと思います。なく

なってみて、はじめてその大切さがわかるものなのかもしれない。私は、友達を大切にしたいなと思えました。友達を大切にすれば、学校でも仲良くできて楽しく過ごせると思います。大人になっても、外国に行ったことなど、いろいろな出来事を話せる友達がいるといいなと思えました。そんな支え合える友達を作りたいと思いました。



### 「雨ふる本屋」

を読んで

月形小学校5年

岸上 果音里

私は「雨ふる本屋」を読んだ、主人公でなく、ホシ丸（ルリ色の鳥）に注目しました。理由は二つあります。一つ目は、ホシ丸のあきらめないすがたです。ホシ丸は、ある人の夢からできませんでした。しかし、ふつうは、ただ夢見られただけではすがた形にならないのですが、ホシ丸は、だれかに、強く強く夢見られたので、人間のすがたになりました。（人間のすがたをしているけど、人間ではありません。）そして、ホシ丸はその自分を夢見た人を探しているのです。しかし、世の中でルリ色の鳥を夢見た人なんてたくさんいます。しかし、それを知っているながら、ホシ丸は夢見た人を探しているなんてすごいと思います。でも、私だったらそんなことできないと思います。理由は、ふつうは、夢見られた方は、夢見た人のところに現れるけど、ホシ丸はそれがどんな人か、どこにいるのかも知らないからです。これは夢見られた人がおいみに感じとるらしいけど、わからないのです。においみたいなのがすれ

ば、見つけられるかもしれないが、それがいい。つまり、何の手がかりもないということ。それなのに見つけるなんて無理があるので、私だったら探しません。

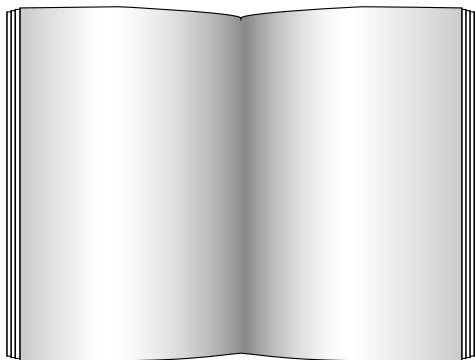
二つ目は、その勇気です。ホシ丸は、自分が最高のえものバッグがいるホッポリ森に笑顔で行って帰って来たのです。ホシ丸は飛べるからといってバッグにおそわれたら存在自体が消えてしまいます。もちろん自分だったらやらな

いし、勇気を出して行こうとも思いません。主人公のルウ子の付きそいだからといっていくのはきけんだと思います。例えば、私は、一つ目のあきらめる・あきらめないという関連で、こんなエピソードがあります。私は、算数が苦手、少しむずかしい問題が出ると、急にできなくなり、すぐにあきらめてしまいます。でも、ホシ丸は重要性のあるものだったらあきらめないと思います。でも、私も重要性のあるものは、あきらめないと思います。なので、ホシ丸のいいところ



ろは、あきらめないとこらだ  
と思います。でも、逆に、ホ  
シ丸は、無謀なこともやりそ  
うそうなのです。

だから、私は、ホシ丸みた  
いにすぐにあきらめないこと  
と、怖がりすぎない心を持て  
る人になりたいです。そのた  
めには、ふだんから、どんな  
ことにもちようせんしたり、  
最後まで物事をやりとげたい  
と思います。そして、れいせ  
いに物事をやったら、大事な  
ものをなくしたりしないと思  
います。ふだんから、何事に  
もちようせんして、最後まで  
やりとげたら、むずかしい問  
題が出て、結果的に、答えが  
まちがっていても、出せなく  
ても、きつと、最後までやり  
とげることができると思いま  
す。



「15歳の  
コーヒー屋さん」  
を読んで

月形小学校6年  
野本 千絵

この本には、小学三年生で  
「アスペルガー症候群」と診  
断された岩野響君が、十五歳  
でコーヒーばいせん士として  
お店を出すまでのことが書か  
れています。

「アスペルガー症候群」と  
は、発達障害の一つです。コ  
ミュニケーションが上手くで  
きないなどの症状があります  
が、人によって特性は違うそ  
うです。響君は、保育園に行っ  
てもできないことだらけでし

た。響君は「できない子」の  
ように見られていたところが  
かわいそうだと思います。  
響君のことを周りの人があま  
り理解してなかったから、響  
君のことを分かってくれる人  
も少なかったんだと思いまし  
た。

小学校は先生などのサポー  
トもあつて卒業することがで  
きました。中学校では勉強  
はもちろん、提出物を守るこ  
となども難しくなつてしま  
いました。そして、学校に居場  
所がなくなり、通えなくなつ  
てしまいました。

響君は学校に通えなくなり  
ましたが、家事を手伝うよう  
になり、料理に興味を持つよ  
うになりました。カレー作り  
がきっかけで、コーヒーばい  
せんに興味を持つようになり  
ました。これは、一つのこと  
を夢中になつたらこだわる響  
君にぴったりの仕事で、鋭い  
味覚、きゆう覚といった特性  
を生かすことのできるもので  
した。

私が一番印象に残っている  
のは、「出来ないことがたく  
さんあつても、出来ること  
だつてある。出来ることを生

かせば、自分の生きる道はあ  
る。」という言葉です。響君  
には、出来ないことがたくさ  
んありました。こだわりが強  
くて、困つたこともたくさん  
ありました。でも、コーヒー  
ばいせんをする響君には、重  
要な武器になっています。

響君は発達障害であること  
を中学生の時に知らされまし  
た。「僕は障害者じゃない。  
やればできる。」とすぐに受  
け止めることが出来なかつた  
響君がどれだけショックだつ  
たか、私には想像することが  
出来ません。でも、「好きな  
ことを仕事にしたら、障害が  
なくなつた」と言っています。

出来ないこともあるけれど、  
その代わりに夢中になつたら  
とことんこだわるという人  
より優れた能力を発揮して、  
コーヒーばいせんという道を  
見つけることが出来た響君の  
言葉にはとても説得力があり  
ました。

人からできないと思われた  
り、欠点に見られたりするこ  
とも特技や長所になることが  
あります。みんな出来ること  
と出来ないことは違います。  
出来ないことでも誰かに助け

をもらえばいいと思います。

響君のコーヒーは、ネット  
で販売をして今では全国で買  
えるようになったそうです。  
出来ないことがあつても、出  
来ることを見つけて、夢に向  
かつて努力している響君の姿  
から、私もこれからのいろ  
んなことに興味を持って好き  
なことを見つけていきたいと思  
いました。

